



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 東都水産株式会社
 コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 関本 吉成
 (氏名) 江原 恒

上場取引所 東
 TEL 03-3541-5468

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	60,144	△0.0	765	144.3	840	138.7	634	70.7
25年3月期第2四半期	60,163	△4.4	313	△43.0	352	△37.8	371	△23.1

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 975百万円 (205.3%) 25年3月期第2四半期 319百万円 (△21.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.94	—
25年3月期第2四半期	9.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	25,778	10,668	41.4	268.08
25年3月期	24,881	9,774	39.3	245.57

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 10,668百万円 25年3月期 9,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△3.1	850	637.8	950	370.5	700	375.9	17.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	40,260,000 株	25年3月期	40,260,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	461,820 株	25年3月期	458,097 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	39,800,379 株	25年3月期2Q	39,805,037 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、デフレ及び景気低迷からの早期脱却を目指す政府の積極的な経済政策や金融政策により、円安や株価上昇が進み、企業の業績には持ち直しが見られ、個人消費にも消費マインドの改善が見られるなど、総じて景気が回復基調にあります。

水産物卸売市場業界におきましては、自動車やエアコンなどの耐久消費財のような消費の改善は見られず、電気やガソリンの値上がりの影響もあり、食料品に対する消費者の低価格・節約志向は依然根強く、加えて市場外流通の増加、水産資源の減少、放射能汚染による出荷制限など、厳しい事業環境が続いております。

このような状況のなか当社グループは、消費者の皆様にご納得いただける安全・安心でおいしい商品をご提供できますよう、集荷・販売の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、魚価は持ち直しの傾向にあるものの、取扱数量が減少したため、前年同期と比べ0.03%減少の60,144百万円となりました。売上原価の節減による売上総利益率の向上、販売費及び一般管理費における貸倒引当金の戻り入れや人件費の削減により、営業利益は前年同期と比べ144.3%増加の765百万円、経常利益は前年同期と比べ138.7%増加の840百万円となりました。特別利益に、東京電力㈱の福島原子力発電所における事故に伴う損害賠償金として「受取損害賠償金」64百万円を計上しました結果、四半期純利益は前年同期と比べ70.7%増加の634百万円となりました。

セグメントの業績概況は次の通りであります。

① 水産物卸売事業

水産物卸売事業につきましては、売上単価は前年同期を上回りましたが、取扱数量が下回りましたため、売上高は前年同期と比べ0.6%減少の55,496百万円となりました。売上原価の節減による売上総利益率の向上、貸倒引当金の戻り入れや人件費の削減により、営業利益195百万円（前年同期営業損失296百万円）となりました。

② 冷蔵倉庫及びその関連事業

冷蔵倉庫及びその関連事業につきましては、売上高は前年同期と比べ7.4%増加の4,310百万円となりましたものの、売上総利益率が低下し、在外子会社における減価償却費が増加したため、営業利益は前年同期と比べ6.0%減少の435百万円となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、賃貸物件の稼働率向上及び在外子会社において為替レートが円安に推移したことにより、売上高は前年同期と比べ2.6%増加の336百万円となりました。さらに諸経費の削減に努めました結果、営業利益は前年同期と比べ4.6%増加の147百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ897百万円増加し、25,778百万円となりました。流動資産は691百万円増加し、17,013百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が1,093百万円増加したものの、現金及び預金が529百万円減少したことによるものです。固定資産は205百万円増加し、8,765百万円となりました。主な要因は、その他に含めて表示しております投資有価証券が時価の上昇により112百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ2百万円増加し、15,109百万円となりました。流動負債は372百万円増加し、10,209百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が793百万円増加したことによるものです。固定負債は369百万円減少し、4,899百万円となりました。主な要因は、長期借入金が452百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ894百万円増加し、10,668百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.3%から41.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績の進捗状況等を勘案し、平成26年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成25年5月13日に発表いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想との差異は以下の通りであります。

(連 結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	120,000	800	850	500	12.56
今回修正予想 (B)	120,000	850	950	700	17.59
増減額 (B - A)	0	50	100	200	—
増減率 (%)	0.0	6.3	11.8	40.0	—
前期実績 (平成25年3月期)	123,802	115	201	147	3.70

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,065	5,535
受取手形及び売掛金	7,236	8,329
商品及び製品	3,682	3,546
仕掛品	50	32
原材料及び貯蔵品	206	241
その他	206	437
貸倒引当金	△1,127	△1,110
流動資産合計	16,321	17,013
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,582	3,592
その他(純額)	2,560	2,565
有形固定資産合計	6,142	6,158
無形固定資産	545	606
投資その他の資産		
破産更生債権等	3,061	2,787
その他	1,727	1,902
貸倒引当金	△2,917	△2,689
投資その他の資産合計	1,871	2,000
固定資産合計	8,559	8,765
資産合計	24,881	25,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,319	4,113
短期借入金	5,260	5,083
未払法人税等	147	205
賞与引当金	56	81
その他	1,053	726
流動負債合計	9,837	10,209
固定負債		
長期借入金	2,071	1,618
退職給付引当金	1,666	1,718
資産除去債務	85	86
その他	1,446	1,476
固定負債合計	5,269	4,899
負債合計	15,107	15,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,017	1,017
利益剰余金	5,934	6,489
自己株式	△60	△61
株主資本合計	9,267	9,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	283
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	329	329
為替換算調整勘定	△39	235
その他の包括利益累計額合計	506	847
純資産合計	9,774	10,668
負債純資産合計	24,881	25,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	60,163	60,144
売上原価	56,710	56,576
売上総利益	3,453	3,568
販売費及び一般管理費	3,139	2,802
営業利益	313	765
営業外収益		
受取利息	23	20
受取配当金	26	29
為替差益	—	24
通貨スワップ評価益	24	2
その他	47	31
営業外収益合計	121	108
営業外費用		
支払利息	44	30
和解金	20	—
その他	17	3
営業外費用合計	83	33
経常利益	352	840
特別利益		
受取損害賠償金	66	64
受取補償金	195	—
特別利益合計	261	64
税金等調整前四半期純利益	613	904
法人税、住民税及び事業税	242	285
法人税等調整額	△0	△14
法人税等合計	242	270
少数株主損益調整前四半期純利益	371	634
四半期純利益	371	634

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	371	634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	65
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	19	275
その他の包括利益合計	△52	340
四半期包括利益	319	975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319	975
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	水産物卸売 事業	冷蔵倉庫及 びその関連 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,821	4,013	328	60,163	—	60,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	360	1,250	53	1,665	(1,665)	—
計	56,182	5,264	382	61,829	(1,665)	60,163
セグメント利益又は損失(△)	△296	462	140	306	6	313

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	水産物卸売 事業	冷蔵倉庫及 びその関連 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,496	4,310	336	60,144	—	60,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	378	1,319	58	1,756	(1,756)	—
計	55,874	5,630	395	61,900	(1,756)	60,144
セグメント利益	195	435	147	777	(11)	765

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。